

オリエンテーションとアイスブレイク

議論を活発かつスムーズに進めるために、オリエンテーションとアイスブレイクの役割は重要です。以下を参考に、スムーズな進行を心掛けましょう。

<DIGの説明>

始めて参加する人にも、これから何をするのかをイメージしてもらうことが必要です。参加者に「DIGとは何か」を説明してください。

DIGのワークショップには、堅苦しい決まりはありません。楽しく、自由に、そして活発に意見交換できる雰囲気をつくることが重要です。まずは相手の意見を聞くこと、そして異論があるときはただ非難したり否定したりするのではなく、その理由を説明し、代替案を示すようにすれば良いでしょう。

ただし、DIGのなかで知り得た個人情報はその場限りのものとし、終了後は他言を慎むようにしましょう。

<アイスブレイク>

アイスブレイクとは「氷を解かす」という意味です。始めて顔を合わせる参加者もいますので、緊張を解きほぐし、発言しやすい雰囲気づくりをするための時間をとります。

ここでは、アイスブレイクの一例を紹介します。アイスブレイクの方法はいろいろありますので、調べてみてください。

アイスブレイクの例

- 1 参加者に A4 用紙を配ります。
- 2 進行役は参加者に対して、2～4問程度の質問をします。
- 3 参加者はその答えを用紙に記入します。(回答はなるべく短くします。)
- 4 質問が終わったら、各グループごとに答えを書いた用紙を他の参加者に見せながら順番に自己紹介していきます。

質問の例

- ・お名前は？
- ・今日はどこから来ましたか？
- ・好きな食べ物は？
- ・最近ハマっていることは？
- ・これまでに体験した災害で印象深いものは？ など